

京都大学大学院 人間・環境学研究所 修士課程 入学試験問題例

1次試験 専門科目 (24. 日本語学・日本文学)

(注意) 解答は、設問(ローマ数字のⅠ、Ⅱ、Ⅲ……)ごとに別の解答用紙を用いること。

縦書きの日本語により、全問解答しなさい。

Ⅰ 次の文章は狭衣物語の冒頭部である。これを読んで、後の問に答えなさい。

深川本『狭衣』冒頭部

問一 全文を翻字しなさい。

問二 全文を次に掲げた和歌を参照しつつ、現代語訳しなさい。

夏にこそ咲きかかりけれ藤の花松にとのみも思ひけるかな (拾遺集・夏・源重之)

我が宿の池の藤波咲きにけり山ほととぎすいつか来鳴かむ (古今集・夏・読み人しらず)

蛙なく井手の山ぶき散りにけり花の盛りにあはましものを (古今集・春下・読み人しらず)

Ⅱ 次の諸事項の中から三つを選んで解説しなさい。

(1) 日本語史における音便の発生とその意義

(2) 語形変化と語義変化

(3) 百人一首

(4) 近松門左衛門

(5) 明治の戯作

(6) 川端康成